

SMILE

☆ 今月も笑顔（スマイル）でスタート！～



11月号 Vol.23

今月の SMILE

アメリカ大統領選挙について

まいど おおきに！

すっかり秋っぽくなりました。我が SMILE も紅葉のイラストに装っています。

今月のスマイルは、11月8日のアメリカ合衆国大統領選挙について取り上げたいと思います。

以下は、YOMIURI ONLINE からの引用です— 米大統領選の共和党候補ドナルド・トランプ氏(70)が、最後の第3回テレビ討論会(19日・ネバダ州ラスベガス)を前に、「選挙で不正が行われている」とする異例の主張を連日、繰り返している。

11月8日の投開票が迫る中、選挙の正当性に対する疑義を提起し、女性へのわいせつ発言・疑惑を巡る批判をかかわす思惑とみられる。

トランプ氏は17日、ウィスコンシン州の集会で「投票詐欺がそこら中にはびこっている」と強調し、ツイッターでも「投票日に向け、大規模な不正行為が行われている」とつぶやいた。トランプ氏や陣営は「市民権を持たない者が民主党に投票する」「有権者登録が不正確」などと主張している。

米紙ワシントン・ポストは社説(電子版)で「近代史で初めての事態」と指摘。「選挙で敗者が勝者の正当性を認めることは民主主義の最も根幹の部分だが、それに異議を唱えようとしている」と警鐘を鳴らした。(引用終わり)

この記事を読むと、トランプが、半ばやけくそで暴言を放っているようにもみえますが、全く根拠がないというわけではないようです。

大規模な不正行為については、クリントンが勝ち、サンダースが負けた米民主党の5月の予備選挙の後、米スタンフォード大学の大学院生らが、この選挙でサンダースを不利に、クリントンを有利にする不正が行われたと指摘する研究結果を発表しています。それによると、印字機能がついている投票機が使われている州だけを集計すると、クリントンの得票率が49%、サンダースの得票率が51%でサンダースの勝ちだったが、印字機能がついていない投票機の州だけを集計すると、クリントン65%、サンダース35%でクリントンの勝ちでした。このことから民主党本部は、印字機能がついていない投票機に細工を施したものに差し替えて、サンダースに投票した党員の何割かの投票結果をクリントンにすりかえることを実現したのだと考えられる、という結論をだしています。

「市民権を持たない者が民主党に投票する」及び「有権者登録が不正確」については、米国在住の違法移民は1,200万人と概算されています。彼らは、運転免許の取得が許されており、運転免許証を提示すれば米国民でなくとも有権者として登録できます。そして彼らは、不法移民に寛容な民主党を支持する者が多いようです。

さあ、クリントン、トランプ、どちらが勝つでしょうか？

それでは、今月も笑顔（スマイル）でスタートしましょう！



中国の輸出 10%減 9月貿易統計、輸入は1.9%減

中国税関総署が10月13日発表した9月の貿易統計によると、米ドルベースの輸出額は前年同月比10.0%減の1,845億ドル(約19兆1,200億円)だった。2桁以上の減少率は今年2月以来7カ月ぶり。パソコンなどの輸出の減少が続いているため、中国景気の下押し要因になりかねない。

8月に22カ月ぶりに前年実績を上回った輸入額も、同1.9%減の1,425億ドルと再びマイナスになった。中国は輸出入とも力強さを欠く状況が続いている。

1～9月の地域別の輸出額をみると、米国向けが前年同期比7.8%減の2,792億ドル、欧州連合(EU)向けは同4.3%減の2,508億ドル、日本向けは同5.5%減の949億ドルだった。

1～9月の商品別の輸出額では、主力のパソコン(前年同期比11.8%減)や携帯電話(同7.7%減)が軒並み低迷している。過剰生産が指摘される鋼材の輸出量は同2.4%増の8,512万トンだった。

1～9月の商品別の輸入額では原油は前年同期比20.6%減の832億ドルと減ったものの、減少幅は小さくなった。

9月の中国CPI反発/PPIはプラスに浮上

中国国家统计局によると、9月の消費者物価指数(CPI)の前年同月比上昇率は1.9%で、8月より0.6ポイント拡大した。4月以降減速が続き8月には2015年10月以来の低水準となっていたが、徐々に反発した。

マイナスで推移してきた工業生産者出荷価格指数(PPI)上昇率は9月、0.1%となり、わずかながら水面に浮上した。中国国家统计局が発表した9月の生産者物価指数(PPI)は前年比0.1%上昇と、2012年1月以来初めて前年比でプラスになった。消費者物価指数(CPI)は、市場予想以上に上昇が加速した。

商品価格の上昇が背景で、生産者物価の上昇で企業業績が改善し、過剰債務問題が緩和するのではないかとの見方が出ている。PPIの市場予想は前年比0.3%低下。前月は0.8%低下だった。

前月比では0.5%上昇。前月比は今夏にプラスに転じた。

PPIは、2013年3月から下落基調で、鉱工業企業の収益を圧迫し、債務返済能力を弱めた。企業の債務は、国際決済銀行(BIS)の直近データで国内総生産(GDP)の約169%に膨れ上がっている。

PPIの上昇は石炭や鉄鋼価格の上昇が主因とアナリストはみている。当局の過剰設備解消の取り組みで供給が絞られ、国内の価格はここ数カ月上昇している。PNCフィナンシャル・サービス・グループのシニア・インターナショナル・エコノミスト、ビル・アダムズ氏は「物価の上昇傾向が続けば、企業の債務返済能力にはプラスに働く」と指摘。「返済コストは低金利で抑制されており、生産者物価が上昇すれば、中国の鉱工業利益の見通しが改善する」と述べた。

<CPIも加速>

9月の消費者物価指数(CPI)は前年比1.9%上昇で、市場予想の1.6%上昇を上回った。前月は1.3%上昇だった。原因は食品価格の上昇。プラス幅は8月の1.3%から3.2%に拡大した。

中国国際経済技術交流センターのアナリスト、Zhang Yongjun氏は「CPIの加速は、主に季節要因によるものだ。トレンドは全般的に安定しており、デフレリスクの懸念は解消された」と述べた。

ANZは、デフレ懸念の払しょくで、金融緩和観測が後退するだろうと予想。ただ「人民銀行が近く流動性を引き締めることはない」とみられる。為替レート、デレバレッジ、景気減速懸念の間でバランスを取るはずだ」としている。



有料道路通行料金の増値税控除に関する問題について

財政部及び国家税務総局は、**2016**年**8**月**3**日付けで、「有料道路通行料金の増値税控除に関する問題の通知」(財税[**2016**]86号)を公布しました。

主な内容は、以下の通りです。

増値税一般納税人が支払った道路・橋・水門に関する通行料金は、取得した通行料金発票(財政領収証を除く、以下同様)に明記された金額に基づき、下記の公式により、計算された仕入税額控除を控除可能となります。

①速道路通行料金について

控除可能仕入税額＝発票に明記されて金額÷(1+3%)×3%

②一級道路・二級道路・橋・水門通行料金について

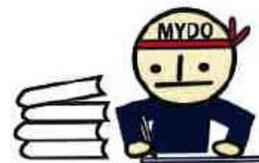
控除可能仕入税額＝発票に明記されて金額÷(1+5%)×5%

本通知は**2016**年**8**月**1**日より実施し、施行停止時間は別途公布されるとのことです。

御社におかれては、経費精算を行う際、上記の通行料発票とその他の発票は分けて貼り付けて、別々に金額を集計することをお勧めします。

法務情報

インターネット食品安全違法行為調査処分規則について



国家食品薬品監督管理総局は、**2015**年**10**月**1**日に改正された「食品安全法」に基づき、インターネット食品安全違法行為調査処分規則(原文「网络食品安全违法行为查处办法」) 国家食品薬品監督管理総局令第**27**号)を制定し、インターネットを通じた食品取引に関してインターネット食品取引第三者プラットフォーム提供者(以下「プラットフォーム提供者」という)、及び第三者プラットフォーム又は自分の運営ウェブサイトを通じて取引を行う食品生産経営者(以下「食品生産経営者」という)を規制する具体的な規則と罰則の詳細を定めました。食品を取り扱い、かつインターネットでの販売をされている、若しくは今後する会社にとっては、留意すべき規則となります。

本規則は、**2016**年**10**月**1**日 施行となります。主な内容は以下の通りです。

1. 届出制度の確立

本規則により、インターネット上で食品販売サイトを設立する場合には、食品薬品監督管理部門への届出を必要となる。

2. プラットフォーム提供者及び食品生産経営者の義務の厳格化

プラットフォーム提供者及び自社の運営ウェブサイトを通じて取引を行う食品生産経営者は、データバックアップ、故障回復等の技術条件を備え、インターネット食品取引データと資料の信頼可能性と安全性を保障しなければならない。そして、プラットフォーム提供者は、食品生産経営者の審査登録、食品安全自己検査、食品安全違法行為差止及び報告、嚴重違法行為によるプラットフォームサービスの停止、食品安全クレーム告発処理等の制度を構築し、かつプラットフォームにおいてそれを開示しなければならない。また、食品生産経営者は、販売サイトの分かりやすい位置に営業許可証や食品生産経営許可証等を開示しなければならない(**18**条)。

3. 法律責任の強化

本規則において、プラットフォーム提供者又は食品生産経営者が本規則に定めた届出義務、取引情報記録保存義務、食品生産経営者の審査登録や食品安全自己検査等の制度構築義務、関連許可証開示義務等を果たさない場合、期間を定めて是正が命じられ、当該期間を経過しても是正されない場合、**5,000**元以上**3**万元以下の制裁金が課せられる。

『AKB48』はプラットフォーム？

今回は、“プラットフォーム戦略”を考えます。

プラットフォーム戦略は、楽天市場のようなイーコマースにおいて実現しやすいと考えがちですが、リアルなビジネスで実現している例として「AKB48」があります。

「人」を売るタレントビジネスは、一般には難しいビジネスの領域だと言われます。
その理由は

- ① どのような人材が売れるかわからない
(金と時間をかけて売り出しても当たるかどうかわからない)
- ② 稼働率に限界がある
(仮に映画や CD が大ヒットしたとしても、タレントの稼働ができる時間には限りがある)
- ③ 売れば売れるほど契約の主導権がタレントに移る
(高額ギャラを用意する必要がある)

こうしたタレントビジネスの難しさを一挙に解決し、プラットフォーム戦略によって成功しているのが「AKB48」です。
つまり、プラットフォーム戦略とは、複数のタレントを抱える「プラットフォーム」全体を売るものになります。

AKB48 は、①の欠点を大人数のユニットで克服しています。

清純派が好き、苦労人タイプが好きなど、ファンの好みは多種多様です。そこで、個性の異なる人材を大人数投入することで、解決していきます。(たくさん投入すれば、ある程度こけるが、ある程度売れる)

また、②の決定も、個々のタレントではなく AKB48 全体で売ることによって克服しています。

番組などの仕事のオファーは、個々でなく AKB48 のメンバーであれば良い、という形で引き受けるため、エースとセカンドクラスをミックスすることで稼働率を上げることに成功しています。

さらに「総選挙」制度で「入れ替え制」をある程度システム化し、③の欠点も克服しています。

よく知られているように AKB48 は、個々のタレントは AKB48 に属しておらずそれぞれの別の大手芸能事務所に属しています。AKB48 として活動する時だけ「派遣」されてくる仕組みです。そのため、AKB48 はリスクやコストを全て負担する必要はありません。

プラットフォームは、顧客、運営者、参加者で成り立っています。

(AKB48 の事例だと、顧客=ファン、運営者=秋元靖氏、参加者=タレント、と考えることができます)こう考えると、国家も会社も一種のプラットフォームであると考えられますね。

成功のカギは、集客、ビジネスモデルの提供、プラットフォームの管理。この 3 つが成功の鍵のようです。



(情報提供: 日本クreas税理士法人)

外国人への「新・就労許可制度」の試行が始まります

11月1日から、上海などの一部地域で、外国人への「新・就労許可制度」の試行が始まります。新制度の内容を簡単にまとめると、①[就労証]と[外国人専門証]が統合される、②外国人の資質に応じて、[A類]、[B類]、[C類]に分類される、③外国人就労者には[個別ID]が付与される、④情報を[電子化]して、審査・手続きを[簡素化]、⑤外国人の人材情報は、[全国で統一管理]へ、⑥2016年11月1日から、北京、天津、河北、上海、安徽、山東、広東、四川、寧夏で試行開始、⑦2017年4月1日から、[全国]で実施、となります。

今後どのように実務が動いていくかを引き続きウオッチしていきます。

(情報提供:コゾノ式 良くなる人事・組織研究所)

特別連載読み物

ナニワのおっちゃん経営道! 中国駐在について語る!



第20回:「社内文化大革命」勃発!

「中国での駐在や、出張での二十数年間」では、本当にいろんな経験をさせて頂きました。それにしても、今回のタイトルは、“ちょっと大げさな!”・・・と言われるかもしれませんが、しかし、当の私にとっては、まさに、その名がぴったりにくるような大事件でした。

日本の取引先メーカーの意向で、中国・上海で生産し、日本に輸出するため、既存の中国子会社(上海メーカーへ納入)工場とは別に、全く新しい生産方式(現状の倍以上の規模・倍以上のスピード)を要求される「第二工場」を新設するため、「上海新工場プロジェクト」を立ち上げた時のことです。そこで、思いもよらぬ、新旧工場の主導権争いが発生したのです。実態は、第一工場の工場長による、新工場に対する“社内での強烈な足の引っ張り合い闘争!”でした。(私の中国駐在中に起きた“最大の危機!”だったこの事件は、1965年から約10年間にわたって中国全土で繰り広げられた「文化大革命」にちなんで、わたしが勝手に「社内・文化大革命」と命名したのです。)それは、個人を攻撃する極めて陰湿な行為でした。有りもしない人間関係の噂を新工場の中国人にまき散らしたり、仕入れ業者にまで様々な邪魔をしたり・・・。

過去に、いろんな経験をしてきた自分としては、少々のことでは動揺することなく、信条や成果を全うする自信はあったのですが、この強烈な“いじめ”には、さすがの私も、「パイ〜パイ〜」が続き、神経がビリビリととんがり、毎日2時間ほどしか眠れない・・・そんな状態が半月間ほど続き、細身の私が、なげきとやせてしまいました。知人からは、“須濱さん、消えてしまいそう・・・”なんて言われました。

本当に、我慢の時期でした。

この難関を突破できたのは、格好良く言えば、まず第一には、遠く離れた日本本社に対する「使命感・責任感」。第二には、献身的に共に苦勞をしてくれた優秀な中国人スタッフの存在でした。

しかし、この「社内・文化大革命」現象も、順調に進んだ生産実績に対する日本のメーカーからの高い評価により、自然消滅するに至りました。

この滅多にないであろうこの経験は、その後の私の中国での駐在生活に、一層強い《自信と忍耐力》を、添えてくれました。

“いろんな経験、ありがとう!”ですね。

お問い合わせは
MYDO まで!!



(お問い合わせ先)

上海滿意多企業管理諮詢有限公司

〒200030 上海市徐匯区虹橋路1号 港匯中心1座 2807

T E L : +86-21-6407-0228 F A X : +86-21-6407-0185

E-mail: info@shmydo.com URL: <http://shmydo.jp>